Web APIとは : ネットワークを経由してデータをやり取りする方法の一つである。

データベースに情報をアクセスするときに、欲しい情報をWeb APIにリクエストする。そうすると、Web APIがデータベースにアクセスして、ユーザが必要としている情報をクライアントにレスポンスすると言った流れである。

なぜ、Web APIが必要なのか、利点としてクライアント側では出来ないことがあり、その代わりをサーバにやってもらう必要があるからである。

メリット : ①インターフェースに依存する : クライアントがAPIサーバを使わず、直接データベースにアクセスしていると、データベースの方で種類が変わった時やカラム名の変更などが起きた場合、クライアント側も実装を変更しなくてはならなくなる。さらに利用しているシステムが複数もあった場合、その全てのシステムも実装を変更する必要になってしまう。

Web APIがあれば、その側の実装を変更するだけでクライアント側では、実装を変更する必要はないので便利である。

メリット : ②セキュリティ面 : Web APIがあれば、データベースにアクセスできるユーザかどうか判別できるシステムを組み込めるため、セキュリティ面においても利点があると言える。